

NEWS RELEASE www.jogmec.go.jp



独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先:メタンハイドレート研究開発グループ 保坂、グラサーハイマン

電話:043-276-9536

広報担当:総務部 広報課 高橋 電話:03-6758-8106

米国アラスカノーススロープでメタンハイドレートの試掘井掘削を計画

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:細野 哲弘)は、米国エネルギー省(DOE)傘下のエネルギー技術研究所(NETL)と合同でアラスカノーススロープのプルドーベイ鉱区(Prudhoe Bay Unit:PBU)においてメタンハイドレートの試掘調査を実施することとしました。

JOGMEC は、NETL と合同でアラスカノーススロープの PBU にてメタンハイドレートの賦存を確認するため試掘井を掘削し、コアサンプルおよび検層データ等を取得することとしました。

当該井には温度・音響センサーを設置し、メタンハイドレートの賦存状況等のモニタリングも可能となります。

なお、国際研究協力体制下で進められる本研究プロジェクトは、アラスカ州天然資源局の協力のもと実施しています。

メタンハイドレートは、メタンガスと水が低温・高圧の特定の条件下で氷状に固まっている物質で、主に極地の永久凍土の地底や深海底下の比較的浅い層に存在しています。

本プロジェクトは資源エネルギー庁からの委託事業として実施しています。

(補足)

米国エネルギー省(DOE:U.S. Department of Energy)

米国エネルギー技術研究所(NETL:National Energy Technology Laboratory)

プルドーベイ鉱区(PBU:Prudhoe Bay Unit)

■NETLニュースリリース(英文)

NETL PLAYS KEY ROLE ON AN INTERNATIONAL TEAM SET TO DRILL GAS HYDRATE TEST WELL ON ALASKA NORTH SLOPE

(URL)<https://www.netl.doe.gov/node/6339>

■これまでの主なメタンハイドレート産出試験実績

2002 年 カナダにて第 1 回陸上産出試験実施(日本、カナダ、アメリカ、ドイツ、インドが参加)

2007 および 2008 年 カナダにて第 2 回陸上産出試験実施(日本、カナダが参加)

「メタンハイドレートからの天然ガス連続生産に成功」(2008 年 3 月 28 日)

(URL)<http://www.jogmec.go.jp/news/release/release0126.html>

2012 年 アラスカにて CO₂/CH₄ 置換試験実施(日本、アメリカが参加)

「アラスカ CO₂ 置換ガス回収実証プロジェクトの現地試験終了」(2012 年 5 月 2 日)

(URL)<http://www.jogmec.go.jp/news/release/release0405.html>

2012～2013 年 日本の第二渥美海丘(渥美半島～志摩半島沖)にて第 1 回海洋産出試験実施

「メタンハイドレート海洋産出試験(平成 24 年度現場作業)終了」(2013 年 4 月 1 日)

(URL)http://www.jogmec.go.jp/news/release/news_02_000006.html

2016～2018 年 日本の第二渥美海丘(渥美半島～志摩半島沖)にて第 2 回海洋産出試験実施

「第 2 回メタンハイドレート海洋産出試験(廃坑作業等)の完了について」(2018 年 6 月 4 日)

(URL)http://www.jogmec.go.jp/news/release/news_06_000399.html

■メタンハイドレート関連情報ウェブサイト

メタンハイドレート資源開発研究コンソーシアム(MH21)

(URL)<http://www.mh21japan.gr.jp/>

■メタンハイドレートフォーラム 2018

MH21 が行っているメタンハイドレート資源開発に関する研究内容を発表します。詳細情報は上記 MH21 ウェブサイトをご覧ください。